



第27号

2013.8.1

山鹿市民医療センター広報紙

ひびき

患者様の権利と責務

- ① すべての人は平等に必要な最善の医療を受ける権利があります。
- ② 病気についてわかりやすく説明を受ける権利と、それらを受けるかどうか選択する権利があります。
- ③ 検査や治療に関する説明を受ける権利と、それらを受けるかどうか選択する権利があります。
- ④ カルテの内容を知る権利があります。
- ⑤ プライバシーを尊重される権利があります。
- ⑥ 患者様は病院の規則を守る責務があります。

発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿 511 番地 TEL 0968-44-2185 (代) FAX 0968-44-2420

電子カルテがスタート！ 受付機が変わりました

7月1日より、電子カルテ導入に伴い再来受付機の場所がかわりました。

正面玄関ホールの左側に再来受付機が2台置かれています。再来受付機は予約されている方だけの受付になります。ご予約のない方は受付できませんので、2番窓口で受付をお願いします。

ご予約の方は、受付機に診察券を入れていただくと、予約されている診療科・主治医の名前が表

示されます。「確認」、を押して頂くと、受付票（1枚）と診察券が出てまいります。受付票はお手元にお持ちになり、診察券は緑のファイルに入れ、診療科のブロック受付にお出してください。診察前に採血やレントゲンなどの検査がある方は受付でご案内しますので、外来基本スケジュール表に沿ってお進みください。

看護師長 飯田由美子



正面玄関ホール左側に再来受付機があります



予約の患者様のみの受付となります



初診の患者様、予約のない再来の患者様は、1番・2番窓口で受付をお済ませください

基本理念

いのち

地域住民の命と健康への貢献

基本方針 山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に務め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に務めます

CONTENTS

電子カルテがスタート！	P1
熱中症を防ぐために	P2
放射線は身近なもの	P3
各専門職の立場から	P3
外来担当医表(8月)	P4
特殊・専門外来(8月)	P4
病院ボランティア募集	P4

熱中症を防ぐために

いつでも、どこでも、誰でも、かかる可能性があります。特に、子どもや中高年は注意！

熱中症は、暑いところにいて、汗により体の水分や塩分が減ってしまったり、体温があがりすぎてしまうことで起こります。健康な人でも、部屋や車の中にも、夜でも、湿度が高いだけでかかる可能性のある病気です。

はじめはめまいや立ちくらみがして、次第に頭痛や吐気と症状が進み、ひどくなると意識がもうろうとし、命にかかわる怖い病気です。

熱中症の症状の分類



熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さをさけること」が大切です！

水分・塩分補給

○こまめな水分・塩分補給

のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を。アルコールでの水分補給は禁！

熱中症になりにくい室内環境

○扇風機やエアコンを使った温度調節

○室温があがりにくい環境

(こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など)

○こまめな室温確認

外出時の準備

○日傘や帽子の着用

○日陰の利用、こまめな休憩

○通気性の良い、吸湿、速乾の衣服着用

熱中症の予防法



放射線は身近なもの

放射線科 診療放射線技師 吉田 健一郎



放射線は怖いもの、少しでも浴びたら体に悪影響が出てしまうものというイメージを多くの人が持っていることと思います。しかし、地球上に住む生命は、自然界が発する自然放射線により常に被曝しているのです。

宇宙からは、宇宙線と呼ばれる放射線が常時飛来していますし、食物や水、空気中などからも放射性物質が体内に取り込まれ、日常生活の中で少ないながらも被曝を続けています。

私たちは放射線に対して正しく向き合うことが大切です。しかし、東日本大震災における原発事故において、放射線に対する不適切な報道がされているのも事実です。放射線に対する誤った認識をされている方は多いと思いますが、放射線はとても身近な存在であり、不利益ばかりではないのです。

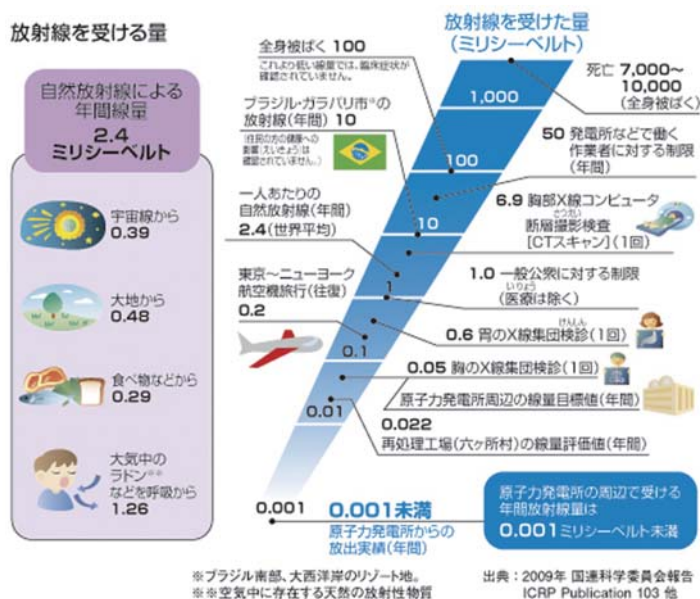
医療現場においてもCTやレントゲン検査等において放射線を使用しています。問題は、体に悪影響を与える可能性があるレベルかどうかです。放射線を使って検査を行いますので、リスクがあることに変わりありません。しかし、病気の診断に使われるCTやレントゲン検査は、こうしたリスクに対し、患者様の病気を発見できるというベネフィット(利益)をはかりにかけ、ベネフィットが

上回ると判断した際に行われるものです。

当院放射線科では、放射線に対する正しい知識を持った診療放射線技師が検査に従事しています。必要最低限の放射線量で質の高い画像を提供しておりますので、安心して検査をお受けいただけます。

放射線に対する疑問、不安な点がございましたら何でもご相談ください。

放射線を受ける量



各専門職の立場から

褥瘡対策チーム紹介

皆さんこんにちは。今回は当院でチーム医療の一つとして活動している、褥瘡対策チームについて紹介したいと思います。褥瘡とは長期間ベッドに寝ている患者さまや車いすを利用している患者さまに多くみられる、いわゆる“床ずれ”と呼ばれるものです。褥瘡は、からだの一定の部位が圧迫され血行が悪くなることで、その部分の皮膚や皮下組織に障害が起り、発生します。褥瘡には、皮膚が少し赤くなっただけのものから、表面の皮膚がむけたもの、深くなって皮膚が大きくえぐれたり壊死しているものまであります。ひとたび褥瘡ができれば患者さまに苦痛を与えるばかりではなく、それにより入院期間が延長してしまう事にもなり、褥瘡は予防が第一となってくる訳です。そこで私達、チーム委員は入院時から入院患者さまに対し褥瘡ができていないかを確認し、できている場合は治療を開始し他の場所にもできないようケアをしていきます。また褥瘡がない患者さまも今後できてしまう危険がないか予測し、危険があると判断すれば予防ケアをしていきます。チームの構成員は、専任の医師と専門知識を持った看護師、栄養士からなり、毎月1回定例会議を開き、褥瘡を持っている患者さまの経過の把握、適切な寝具が提供できているかなどを報告し、問題点について検討しています。更に褥瘡患者さまの褥

瘡回診を月2回定期的に行ない、メンバーがそれぞれの専門性を発揮し、瘡の評価、適切な体位、栄養法、治療法の選択、病棟看護師への指導などを行なっています。今後も多職種で情報を共有し、患者さまに予防法やケアの方法など検討しながら、それぞれの専門性を生かした効率的なチーム活動ができるよう努力していきたいと思っています。

担当：褥瘡対策チーム 上村 洋美



外来担当医表

8月

診療科名		月	火	水	木	金
内 科		永野 久俊	—	吉岡 明子	永野 久俊	永野 久俊
呼 吸 器 内 科 (紹 介 外 来 制)		坂田 典史	坂田典史・後藤英介	後藤 英介	坂田 典史	後藤 英介
循 環 器 内 科		大庭 圭介	大庭 圭介	※1 海北 幸一	※1 藤末昂一郎(午後)	大庭 圭介
内 分 泌・代 謝 内 科		※1 小野 恵子	村田 雄介	村田 雄介	吉里 和晃	村田 雄介
消 化 器 内 科		※1 立山 雅邦	—	—	※1 泉 和寛	—
血 液 内 科		—	島貫 栄弥	—	—	島貫 栄弥
整 形 外 科 (紹 介 外 来 制)		高木 茂・工藤智志	工藤智志・立石慶和	手 術 (担当医)	高木 茂・立石慶和	手 術 (担当医)
外 科		大熊利之・豊永政和	※1 村上 敬一	宮村 俊一	池上 克徳	飯田伸一・宮村俊一
泌 尿 器 科		結城 康平	山崎 浩藏	結城 康平	※1 河野 吉昭	結城 康平
小 児 科		—	—	—	—	—
セ ン タ ー 器	耳 鼻 咽 喉 科	—	深見 直美 9：30～11：00 12時診察終了	—	—	土生健二郎
	眼 科	田原 仁	田原 仁	田原 仁	田原 仁	田原 仁
産 婦 人 科		福島 泰斗 井上 弘一	福島泰斗・井上弘一 片渚美和子(午後) (第2・4・5)	福島 泰斗 井上 弘一	福島泰斗・井上弘一 片渚美和子(午後) (第1・2・4)	福島 泰斗 井上 弘一
総 合 診 療 科		本郷 弘昭	本郷 弘昭	—	—	本郷 弘昭

◎診療時間は、8：30開始で11：00受付終了となります。予約変更の電話は、午後1時から4時までをお願いします。
※1は、熊本大学病院からの派遣医師。

特殊・専門外来

8月

名 称	担 当 医	実 施 日	診察場所
セカンドオピニオン外来	本 郷 弘 昭	毎週 月曜、金曜（午前）	外 科
禁 煙 外 来（ 予 約 制 ）	坂 田 和 子	毎週 月曜（午後）	内 科
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	坂 田 和 子	毎週 火曜、木曜（午後）	内 科
乳 腺 外 来（化学療法外来）	※1 村 上 敬 一	毎週 火曜	外 科
女性外来（婦人科、思春期、更年期）	片 渚 美和子	毎週 第2・4・5火曜（午後）、第1・2・4木曜（午後）	産婦人科
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	外 科
P E G 外 来	担 当 医	毎週 水曜（午後）	外 科
緩 和 ケ ア 外 来	坂 田 典 史	毎週 金曜（14:00～16:00）	内 科
糖 尿 病 外 来	村 田 雄 介	毎週 木曜（9:00～12:00）	内 科
両親学級(予約制：産婦人科)	助 産 師	第2・3・4日曜（10:00～12:00）	5 階病棟
母 乳 外 来 (乳 房 マ ッ サ ー ジ) ※ 予 約 制	助産師：田中妙子	月曜、木曜（8:30～16:00）	5 階病棟

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎セカンドオピニオン外来については、地域医療連携室にお尋ねください。 ◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

病院ボランティアを募集しています

皆さまの貴重なお時間を、病院ボランティア活動として活かしてみませんか!!

活動内容

案内ボランティア…受付、診療科へのご案内
介助ボランティア…身体の不自由な患者さまの介助
園芸ボランティア…病院内の庭木、園芸の手入れなど
絵画ボランティア…絵画の展示等

募集するボランティア

対象者：18歳以上で心身ともに健康な方。
参加条件等：①目的を理解し、積極的に参加していただけの方。②無報酬での活動となります。③ボランティア保険に加入していただきます。※保険料は当院が負担いたします。
活動日：月曜～金曜

申込・お問い合わせ先
山鹿市民医療センター 看護部 平山 恵
Tel：0968-44-2185（内線938）